羅史志怒物語

三十七編上

へ13
2754
49

門ヘ13
號 3754
卷 49

不知火物語第三十七編上

種員作
種彦校

慶業板

肥前風土記を閲するに肥前郡に大多の樟樹有朝日の影ハ杵島郡の
浦川山を蔽ひ暮日の影ハ養父郡の草横山を蔽ひとあり日本武尊巡幸の
時茂く栄るさまをうたがひなしとあるを今の世にいとのこりしかの
郡名とす

文字の後に改む

[illegible]

有其樟ハ今山也と夫を土墓に化石の洞根も葉も
[illegible]
孕婦に逼る梢に曝時の蕪菁が鐸振る
此編の口画に出たる産屋前の襁褓評さらで不讀でも
[illegible]
其磐盤の胞衣捕底を排つて案ずるに
ある歳ありたまぎれるどくハらそれと然もお釈迦の誕生日産湯の日茶に華
を開き 寝帯メく稿を起すハ

文久三癸亥歳同一年四月稿成

物のかたこのき

柳亭種彦

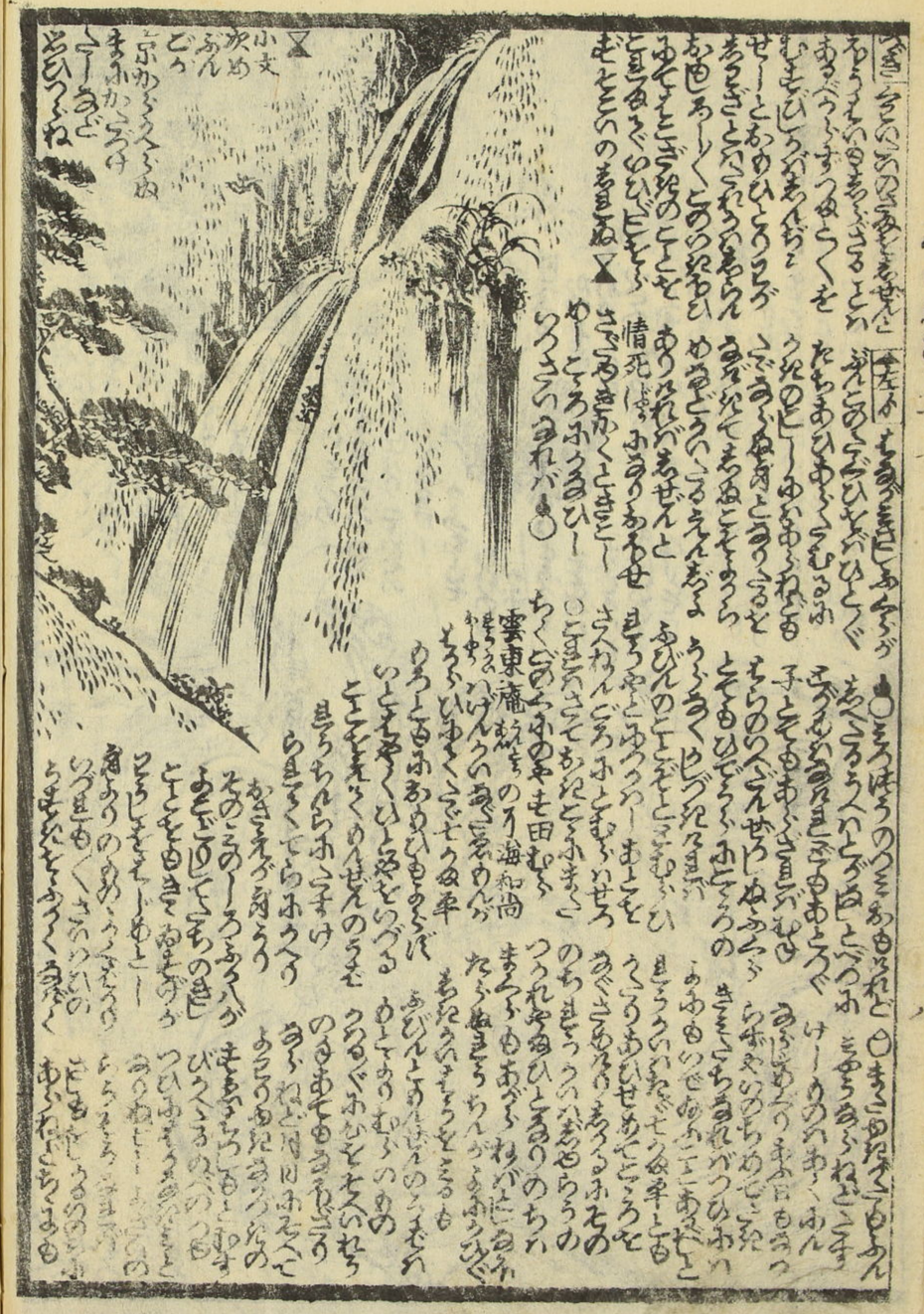
老樹の姥
遊女揚羽

若菜姫
假ふ神巫兒

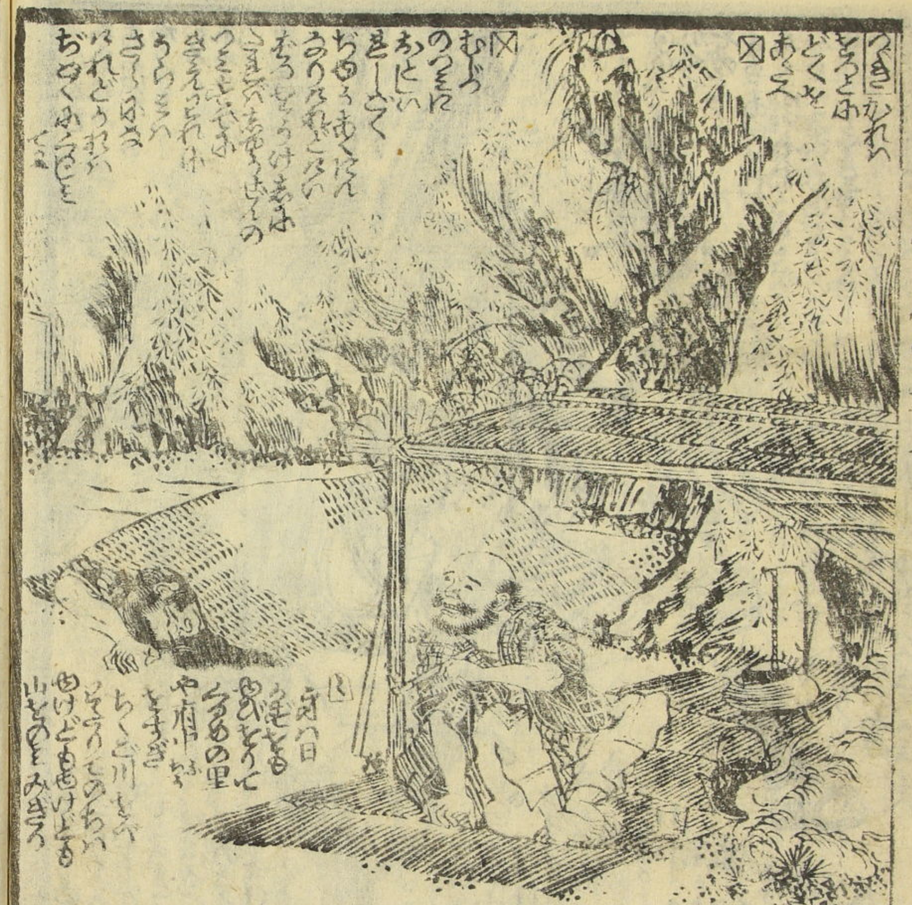
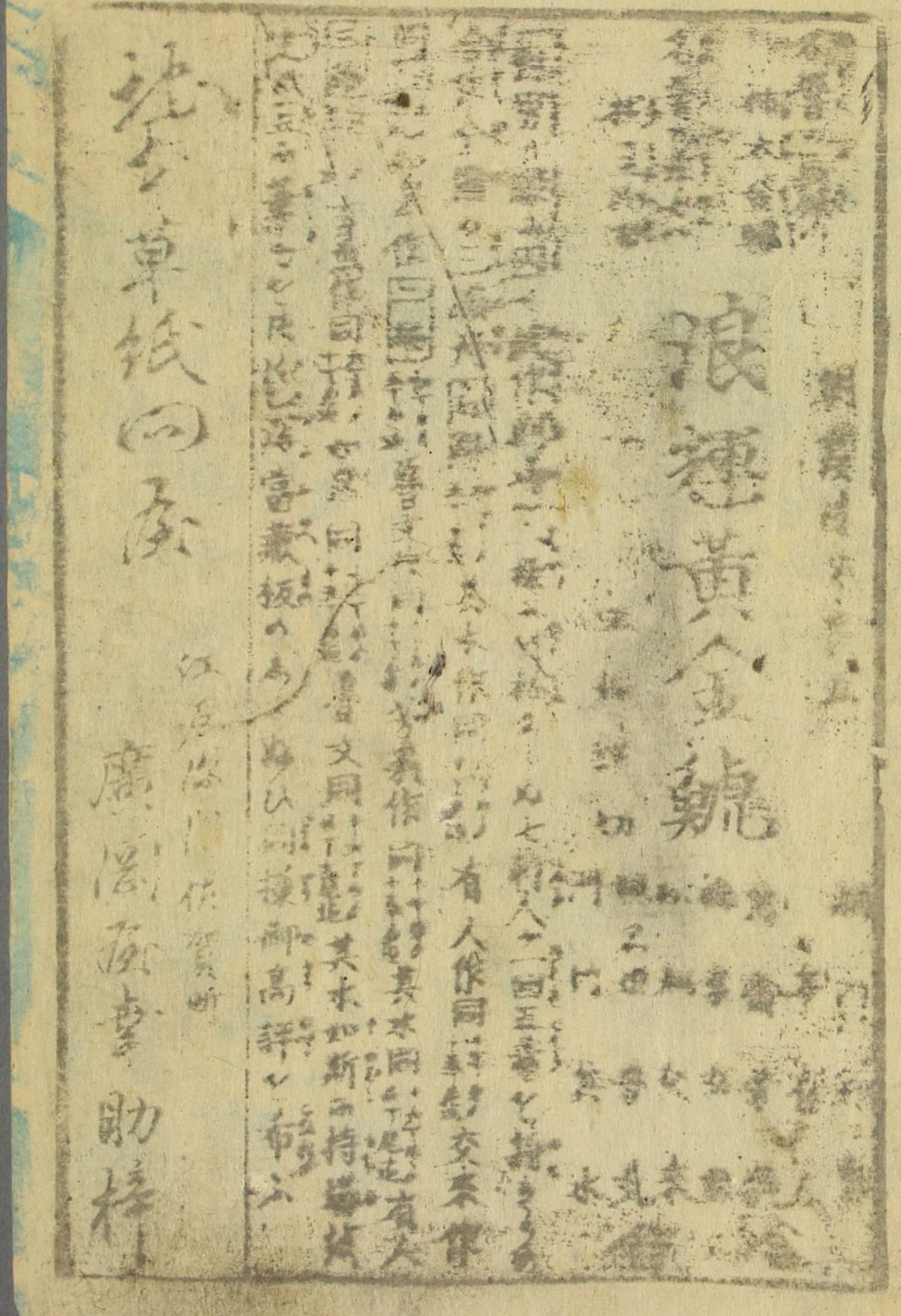
つぎ
まつ
そのさかひ
白ビをもて
あごとろ
孝

福
寿

春
鳴戸の渕



三笠山が
芽子相撲
豊後國の
山中ゆく
職金を
爭ひ
双傷の処



種彦
脩辞